

主な内容

- 2……アドバンスコープADSホール催物、年金通信
- 3～6……なばり市議会だより
- 7……親子すくすく行事
- 7・8……市長への手紙
- 8……知事と市長の1対1対談

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

職場体験へ温かいご支援をお願いします

今後の実施予定 ▼名張中学校 9月11日(木)～13日(土)

▼桔梗が丘中学校 9月25日(木)～27日(土)

▼南中学校 11月6日(木)～8日(土)

株式会社アドバンスコープ 6月12日～14日



赤目中学校 2年
松下 賀帆さん

赤目中学校 2年
磯部 佑貴くん

テレビやラジオの番組制作を体験しました。テレビのニュースの取材に一緒に行ったり、ラジオの生放送で原稿読みに挑戦(写真)したりしました。

原稿読みでは、皆さんに聞きやすいように「はっきりと大きい声」ということを意識しました。生放送で緊張もしましたが、なんとか読みきることができました。

今回の体験では、相手に分かりやすい言葉で伝えることの大切さや、1つの番組を作るために、たくさんの方が協力して作っていることが分かりました。よい経験ができたと思います。

Interview

赤目中学校職場体験担当
教諭 白鷹 久美子さん

「地域の皆さんに育てられている」と実感

職場体験は、校区内の事業所を中心に受け入れを願っていますが、皆さん忙しい中、子どもたちを快く受け入れていただいています。「子どもたちは地域の皆さんに育てられている」とあらためて実感しますし、本当にありがたく思います。

生徒にとって職場体験は、面識のない大人たちと触れ合ったり、教えてもらったりと、普段とは違う経験ができます。また子どもたちも学校とは違った一面を見せているようです。皆さん、これからも子どもたちの成長を支えてあげてください。

大人への第一歩

中学生職場体験リポート



市内のすべての中学校は、平成13年から職場体験を実施しています。市内のさまざまな事業所で働くことで、生徒たちは自分の生き方について考える機会を持ち、自分の進路について考えたりするきっかけになっています。

今号では、職場体験をした中学生、受け入れ事業者、担当教諭にお話を伺いました。職場体験は9月以降も予定されています。皆さん、温かいご支援をよろしくお願いします。

図 学校教育室 ☎63-7882

おるすばんハウスひまわり園 6月18日～20日



わたしは、子どもが好きなので、将来は保育士や小児科医など子どもとかわる仕事をしたと思っています。

保育の職場を体験させてもらったのですが、多くの子どもたちとかわるということで、目配り、気配りの大切さと、仕事の大変さを感じました。そして、相手のことを考えて行動することが大事であるとあらためて思いました。今回の経験を将来や、これからの学校生活に生かしていきたいと思っています。



北中学校 3年
九谷 葉月さん

Interview

おるすばんハウスひまわり園
園長 中村 大学さん

成長した姿を見せに来てほしいですね

今年初めて、中学生の職場体験を受け入れました。お預かりしている子どもたちの生活を守ることが第一ですので、中学生に合わせて何かをするといったことはありませんでした。九谷さんには、職場のありのままの姿を見ていただきました。

九谷さんは、目標をしっかりと持って子どもたちと接していたように思えます。また「何かしよう」とする気持ちが伝わってきました。

3日間と短い期間でしたが、大人になったときには、成長した姿を見せに来てほしいですね。

